

第 20 回思川開発事業生態系保全委員会 議事要旨

日 時：令和 2 年 12 月 10 日（木） 14:00～15:40

場 所：栃木県教育会館 小会議室

出席者：三島次郎委員長、酒井豊三郎委員、高橋滋委員、宮崎淳一委員、柳澤紀夫委員
(敬称略、委員五十音順)

議 事：

モニタリング調査及び保全対策

(1) 希少猛禽類

事務局より、オオタカのモニタリング結果、営巣中心域内での工事等に対する保全対策、あらたな代替巣の設置、クマタカ及びサシバのモニタリング結果、令和 3 年のモニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・ 巣立雛数の経年的な変化により事業の影響を評価できることも考えられるため、オオタカ及びクマタカについて、地域個体群としての巣立雛数を整理するとよい。

(2) ムカシヤンマ

事務局より、ムカシヤンマのモニタリング結果及び令和 3 年のモニタリング計画について説明し、了解された。

(3) 希少植物

事務局より、希少植物のモニタリング結果、オオヒキヨモギ調査の結果、令和 3 年のモニタリング計画について説明し、了解された。

(4) 環境保全地

事務局より、環境保全地のモニタリング結果及び令和 3 年のモニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・ 委員より下流池の一部を掘り下げて深場を造ること等の提案がなされ、了解された。
- ・ 池より上流の所久保沢にもホトケドジョウの生息出来そうな環境が存在するので、生息確認調査を行うとよい。

以 上